

特集

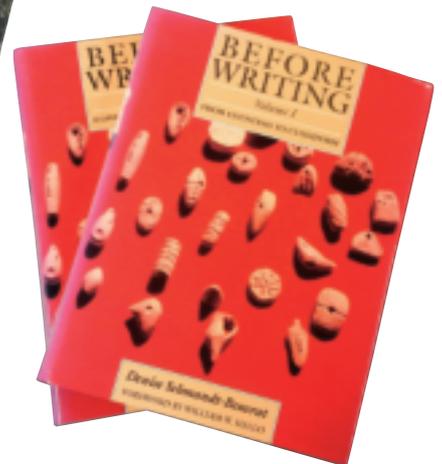
計る・量る・経済を測る



ケネー『経済表』（ミラボー『人民の友』（新版 1758-1760年）第6部より）



『銀行簿記精法』（1873年）



デニス・シュマンント＝ベッセラ
『文字以前』（1992年）

CONTENTS

- 図書館長就任にあたって 図書館長 関野満夫
- 図書館活用術—図書館に行こう！
- 特集 計る・量る・経済を測る 経済学部教授 小口好昭
- 図書館所蔵ウォルター・クレインの絵本 美術展に
- インターナショナル・ウィーク第8回「メキシコ関連図書・資料展示」を開催
- 新収資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録（2016.4～2016.7 収集分）

図書館長就任にあたって

図書館長 関野 満夫 (経済学部教授)



私はこれまで大半の大学教員と同様に、中央大学図書館にはもっぱら利用者として関わってきました。つまり、書庫での図書・雑誌論文の探索・コピー、レファレンスを通しての学外資料の収集などです。私が中央大学経済学部助手として着任したのは1987年ですから、それ以来30年間にわたって研究者として中央大学図書館の恩恵を享受してきたことになります。

さて、そうした私がこの度2017年4月より思いがけなく図書館長の職務を拝命することになりました。今後は単なる一利用者としてだけではなく、図書館サービスの供給側の一員ともなります。図書館職員の方々、利用者たる学生、院生、教職員の意見を聞きながら、中央大学図書館に課された役割や直面する課題に対処していきたいと思えます。個人的にはとくに、①「図書(本)離れ」と言われる今日の学生に、本の魅力、図書館利用の楽しさを積極的に伝える、②学内研究者のニーズに応えられるよう図書・資料の充実、最新化、効率化に努める、③書庫拡充、閲覧スペースの改善など図書館施設の改善を検討する、ことに留意したいと考えています。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

関野館長のオススメ

2016年11月に公開された日本のアニメ映画「この世界の片隅に」が話題を呼んでいる。2016年キネマ旬報ベストテン第一位(日本映画)をはじめ、映画界各賞を受賞するなど、社会的にも極めて高く評価されている。この映画は1944(昭和19)年に広島から呉に18歳で嫁いだ女性(すずさん)を主人公に、太平洋戦争中の庶民の日々の生活や街並み・自然風景を丁寧かつユーモアも交えて描きつつ、そうした日常生活が戦争・空襲によって無残に破壊されるという現実をリアルに描いている。実は私はこの映画を公開初日から6週間で計5回鑑賞した。それだけ魅力的で感動させられるアニメ映画であった。

今年(2017年)は、太平洋戦争・第2次世界大戦が終了してからすでに72年を経過しており、私(1954年生まれ)も含めて今日の日本人の大半は直接的な実体験としての戦争の記憶は持っていない。そうだからこそ、私たちは、戦争の実態を直視するとともに、当時の日本および日本人が何故、あのような悲惨な結果をもたらした戦争に突入していったのかを、絶えず省みる必要がある。ここに推薦する2冊の文庫本は、近代日本が戦争にいたった経緯と背景を、多面的に分かりやすくかつ反省的に解説しており、学生諸君には在学中に是非読んでもらいたい。



それでも、日本人は
「戦争」を選んだ

加藤陽子著
新潮社 2009(新潮文庫)
所蔵 開架文庫 新潮文庫/か-77-1



昭和史 1926-1945

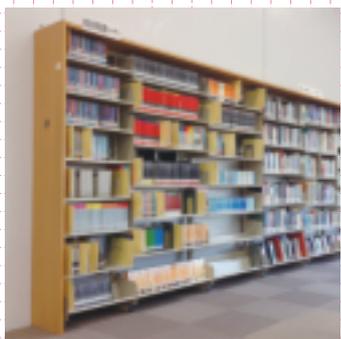
半藤一利著
平凡社 2009(平凡社ライブラリー)
所蔵 開架 210.7/H29

*上記のオススメ図書は中央図書館2階入口で展示します。理工学部分館でも5月以降展示予定です。

多読コーナー

多読とは単語の意味や文法を完璧に理解することよりも大意を把握することを目的とする読書法です。多読向けの本の中には難易度が付与されているシリーズもあり、自分の語学レベルに合った本を見つけることができます。たとえば、単語数でレベル分けされている Penguin Readers シリーズには Mother Teresa や Daniel Radcliffe の伝記 (Level1) や、"A Christmas Carol" (Level2) や "My fair lady" (Level3) などの読み物があります。

中央図書館



中央図書館 4 階洋書コーナー内
(2016 年設置)

理工学部分館



理工学部分館 5 階第 2 閲覧室内
(2013 年設置)

電子ブックも活用しよう



データベース検索「電子ブック」の ebrary から Orca の、Maruzen eBook Library から Macmillan と Thomson の英語多読コレクションを利用することができます。詳細は各図書館レファレンスカウンターへお問い合わせください。

中央図書館・理工学部分館開催！イベント情報

*開催日時・内容は館内掲示や図書館ホームページで確認できます。ご不明な点は各図書館カウンターまでお問い合わせください。

図書館ツアー **中央** 4~6月開催予定

館内を歩きながら、中央図書館の活用方法をご紹介します。学部学生の皆さんが普段は入ることのできない書庫にもご案内しており、参加者からは「すごい！皆にも知ってほしい」と、好評をいただいています。国内有数の蔵書をぜひ体感してください。

情報検索講習会 **理工**

研究しているテーマの論文検索から、実際に論文を入手するまでの3ステップを、データベースを操作しながら説明します。J-Dream III や Web of Science を使った論文検索や、電子ジャーナルの検索方法など、研究に役立つ情報が満載です！

卒論入庫説明会 **中央** **理工**

対象：3年生以上の学部生・通教生

中央図書館 1 階の中央書庫（閉架書庫）には、4 階開架閲覧室（約 17 万冊）のおおよそ 6 倍にあたる図書・資料があります。理工学部分館の 6、7 階書庫にも、雑誌のバックナンバー等が数多く保管されています。書庫に入れるようになることで、学習の幅も広がるはず。説明会では、書庫での資料の探し方を実際に書庫内を歩きながら説明します。ぜひご参加ください。

ミニミニ講習会 **中央**



ミニミニ講習会マスコット
ミニミニ博士

皆さん、データベースについてご存じですか？ミニミニ講習会では、特に学生の皆さんに役立つ新聞や論文のデータベース活用のコツを 20 分程度で簡単に紹介しています。5~6 人程度の少人数制のため、データベースをまったく使ったことがなくても大丈夫です！

就活情報活用セミナー **中央** **理工**

企業・業界研究に役立つデータベースをご紹介します。2016 年度は企業や人事の情報を調べられる日経テレコンや、有価証券報告書が読める eol などをご紹介します。参加者の皆様からは「企業研究にとっても役立つ」、「就活が楽しめそう！」など、毎年大好評です。
※ 2016 年度は 12 月開催。



自然科学と社会科学とを問わず、科学の歴史は一面では数量化と標準化の歴史であると言って良いでしょう。自然や社会のさまざまな現象を科学的に探求するためだけではなく、日常生活を円滑に過ごすためにも、それらの現象を世界的に標準化された方法で数量化する、すなわち数字で表すことが不可欠です。数量化を表す言葉には、計る、量る、測るなどたくさんありますが、これらをひっくるめて測定と呼ぶことにします。

こう言うと、サン＝テグジュペリの『星の王子さま』に、おとなは数字が好きだから、いろいろなことを話しても一番大切なことは何も聞かずに数字にしか興味がない、数字がわかれば何もかもわかってしまうと思っていると批判されるでしょう。しかし、数量化とその方法の標準化がなされていないと大切なことがわからない場合が多いし、そもそも分業や交換そのものが成り立たず、日常生活すらできません。メートルやキログラムといった、長さや重さの計量単位が標準化されていなかったら、飛行機乗りだったサン＝テグジュペリは、目的地までの距離や緯度、高度、燃料の量などを数字で知ることができずに飛ぶことができなかったでしょう。

自然科学者は、自然現象を精密に測定する測定単位を定義するために、とてつもない努力を払って国際単位系を定めています。国際単位系は、長さ(メートル:m)、質量(キログラム:kg)、時間(秒:s)、電流(アンペア:A)、熱力学温度(ケルビン:K)、物質質量(モル:mol)そして光度(カンデラ:cd)の7つの基本単位と、これらを組み合わせた組立単位から構成されています。たとえば組立単位である速度は、長さと時間を組み合わせたメートル毎秒(m/s)と定義されています。測定単位の定義と測定方法の標準化は、社会のインフラです。

社会科学でも、社会現象や経済現象を測定するためにさまざまな努力をしています。ここでは、会計学の2大領域であるマイクロ会計とマクロ会計が、経済活動を数量化するためにおこなっているとてつもない努力のいくつかを簡単に振り

返ってみます。マイクロ会計とは、企業や政府、非営利団体など個々の組織に関する会計で、企業会計が代表的です。マクロ会計は、国民経済全体を対象とする会計であり、現在は国際連合が加盟各国に作成を勧告している『国民勘定体系(System of National Accounts:SNA)』が国際標準体系になっています。わが国では国民経済計算と呼んでいます。

企業活動を数量化するマイクロ会計の基礎となる複式簿記を初めて体系化したのは、イタリアの数学者であり僧侶であったパチョーリ(Pacioli, Luca, 1445-1517頃)です。彼が1494年にヴェネツィアで出版した『算術・幾何・比および比例全書(Summa de Arithmetica, Geometria, Proportioni et Proportionalita)』(図1)という数学書のなかで、複式簿記法を体系化したのです。とは言っても、パチョーリが無から創作したのではなく、当時、ヴェネツィアやフィレンツェなどの会社で使われていた記帳方法を彼独自の視点で体系化したのです。この本は、活版印刷で印刷された世界最古の複式簿記書と言われ、世界各国に普及し、複式簿記の国際標準体系となりました。その功績によって、パチョーリは会計学の父と呼ばれています。



図1 簿記論の項
(初版リプリント1973年)
※僧侶の人物像(上)は、
パチョーリ本人ともいわれている

イタリアで体系化された複式簿記が日本に初めて渡来したのは、奇しくも時を同じくして1873年（明治6年）に刊行された『銀行簿記精法』（表紙中央上下）と『帳合之法』によってです。前者は、明治政府が国立銀行条例に基づいて全国各地に銀行を設立し、それらに統一会計制度を導入するために、イギリスの銀行家であったシャンド（Shand, Alexander A., 1844-1930）に執筆を依頼したものの翻訳です。『帳合之法』は、アメリカで使用されていた簿記書を福沢諭吉が翻訳したものです。福沢は、単に簿記の技術を普及させる目的で翻訳をしたのではなく、『学問のすすめ』と同様に、日本近代化の必須要件として複式簿記を位置づけたのです。当時の日本にはいわゆる大福帳と呼ばれる商家の帳簿（図2）がありました。時代劇で番頭さんが記帳しているあの帳簿類です。しかし明治政府は、それらが正確さに欠け記帳方法が標準化されていないという理由で、経済のインフラとして採用しませんでした。こうして、『銀行簿記精法』と『帳合之法』の2冊によって日本に導入されたイタリア式複式簿記が、現在のわが国における会計制度の基礎になったのです。



図2

他方、マクロ会計の先駆者として先ず敬意を表すべき人は、オックスフォード大学の解剖学教授であったイギリスのペティ（Petty, William, 1623-1687）です。1690年に出版された彼の『政治算術（Political Arithmetick）』（図3）は、当時のイギリスにとって最大の脅威であったオランダ、フランスとの国力比較をおこない、母国の富国強兵策を提言したものです。ペティは、この3ヶ国の国力比較をおこなう方法として、より富んでいるとか最も人口が多いというような曖昧で主観的な言葉で表現するのではなく、数字で客観的に表



図3（1691年）

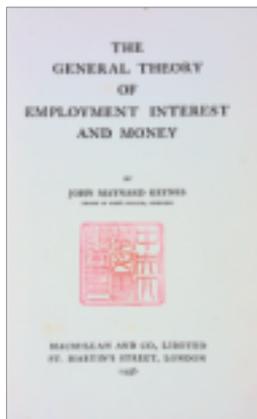
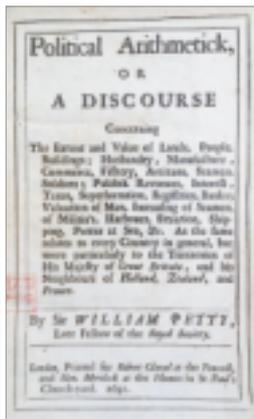


図4（1936年2刷）

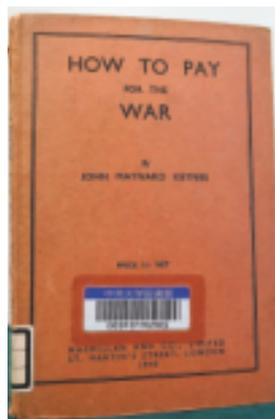
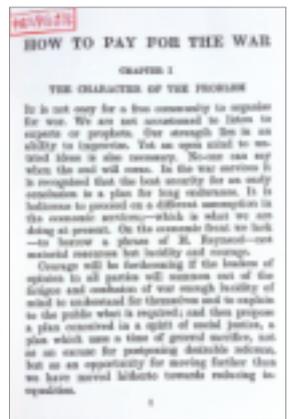


図5（初版1940年）



現する新しい方法をとったと強調しています。『政治算術』は、社会科学に数量分析の研究方法を初めて導入した画期的研究と評されています。

ペティに少し遅れてフランスでも、外科医でありルイ15世の侍医を勤めたケネー（Quesnay, François, 1694-1774）が、『経済表（Tableau économique）』（表紙左）という経済循環図表を作成しました。これは第1版が1758年に印刷されたと言われており、1759年に改訂第3版が印刷されました。ケネーの目的は、ブルボン絶対王政の危機的状況を打開するためには経済構造の転換が必要であることを示すことです。その理論的根拠として、市民を農業に従事する生産階級、農業以外の生産に従事する不生産階級そして地主階級の3階級に分類し、これら3階級の間で農工業生産物がどのように生産・分配・支出されるのかを示しました。そしてケネーは、農業こそが富を生む唯一の源泉であり、農業の盛衰が国の盛衰を決定すると主張しました。このことから、ケネーは、重農主義の創始者と言われています。ペティとケネーの著作は、本学図書館に貴重書として収蔵されています。

ペティやケネー以後も、国民経済を測定しようという試みはいろいろおこなわれてきました。しかし、それらは個人的な関心に基づく散発的で継続性のない試みでした。言わば、理論無き測定時代でした。この状況を一変し経済学に基づく国民経済の数量化に革命的大転換をもたらした学者が、マクロ経済学の創始者であるケインズ（Keynes, John M., 1883-1946）です。ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論（The General Theory of Employment, Interest and Money）』（1936）（図4）はマクロ経済学の古典ですが、マクロ会計の発展には彼の『戦費調達論（How to Pay for the War）』（1940）（図5）が大きな役割を果たしました。

『戦費調達論』は、第二次世界大戦の勃発にあたって、イギリス政府がインフレーションを引き起こすことなく必要

な戦費を調達するためには「支払繰延」と言う政策をとるべきであると提言した90ページに満たない小冊子です。本書は、ケインズの膨大な著作の中ではほとんど無視されていますが、『一般理論』を基礎にして国民経済循環を数量化した記念碑的な出版物であり、マクロ会計の形成に決定的な役割を果たしました。本学図書館は、『戦費調達論』の初版本を所蔵しています。

ミード(Meade, James E., 1907-1995)とストーン(Stone, John R. N., 1913-1991)という2人の学者が、ケインズの指導を受けながら、『一般理論』と『戦費調達論』の理論に複式簿記の考えをプラスした勘定体系を作り上げて、1941年に「国民所得・支出・貯蓄および投資の表の構築」という論文を発表し、マクロ会計の骨格を作り上げました。ケインズとパチョーリが握手した瞬間がマクロ会計誕生の時と言えるでしょう。この論文の考え方に従って同年4月に、イギリス政府は国民経済循環を測定した公式の経済白書として『戦費財源の分析および1938年と1940年における国民所得および支出の推計』を公表したのです。これがマクロ会計の世界初の公式統計です。

その後、ストーンは国際連合を中心にマクロ会計の整備に努め、1953年に最初の国際標準体系(SNA)(図6)が公開されました。SNAはそれ以降さらに、ノーベル経済学賞を

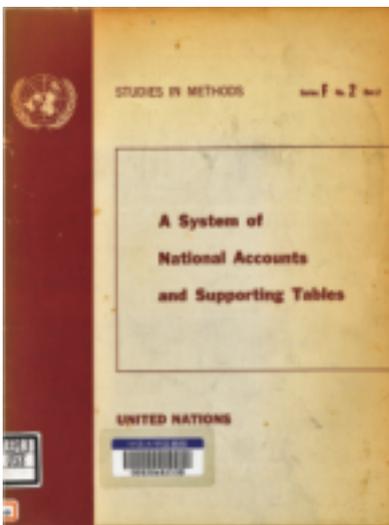


図6(第3版1964年)

受賞したレオンチェフ(Leontief, W., 1906-1999)が開発した産業連関分析や、国民貸借対照表、国際収支表、資金循環表との統合を進め、壮大なマクロ会計へと進化しました。マクロ会計は、現在では景気判断や経済政策、経済状態の国際比較にとつての必須アイテムです。ストーンは、この一連の功績によって1984年にノーベル経済学賞を受賞しました。

マクロ会計が作り出す代表的な数値に国内総生産(GDP)があります。しかし、GDPは分配の不平等や経済的な豊かさを表さないと批判されています。たとえば、大気汚染が進んで空気清浄機の生産が増えればGDPも増えます。治安が悪

化して武器の所持が認められればGDPは増えます。まさに、数字がわかれば何もかもわかってしまうと思って一番大切なことを見落としていると言う『星の王子さま』の言葉通りかもしれません。マイクロ会計もマクロ会計も、大事な物を見失わないように改善に改善を続けています。

ところで、数の概念はいつ頃発明されたのでしょうか。テキサス大学オースティン校中東研究所のデニス・シュマント=ベッセラ教授(Schmandt-Besserat, Denise, 1993-)は、1992年に出版した『文字以前(Before Writing)』(表紙右)と題する2巻の大きな本で、抽象的な数の概念と文字の発明をもたらしたのは、紀元前8000年頃にメソポタミアで使われた会計であり、会計人であったという仮説を提起して話題になりました。デニスは美術史の研究者であり、会計学者でも考古学者でもありません。粘土を使った美術工芸品の研究過程でこの仮説を着想したのです。

紀元前8000年頃に、村落共同体の共有財産である穀物や家畜などを管理するために作られた小さな粘土細工の形と個数が、文字と数の始まりだということです。従来、文字の発達は動植物の自然の姿を絵にした象形文字から、それを抽象化した楔形文字へと進化したというのが定説でした。これに対して、デニス説は、著者がトークンと命名した小さな粘土細工の形を粘土板に写し取ったものが象形文字と楔形文字の起源であるとしたのです。会計の起源はパチョーリの時代を1万年近くさかのぼる新石器時代にあり、しかも会計が文字と数を生み出したということです。人類は、まさに必要に駆られて文字と数を作り、さまざまな物や現象を計り、量り、そして測って来たのです。

図書館では、この特集にあわせて

「第25回中央図書館企画展示： 計る・量る・経済を測る」

を開催します。

この機会にぜひご覧ください。

期間：2017年4月1日(土)～5月6日(土)

場所：中央図書館2階展示コーナー

図書館所蔵 ウォルター・クレインの絵本 美術展に

滋賀県立近代美術館と千葉市美術館で開催の「絵本はここから始まったーウォルター・クレインの本の仕事」展に、中央図書館で所蔵するクレインの絵本・挿絵本 40 点（内 1 点は文学部社会学専攻所蔵）が展示されています。

クレイン（1845-1915）は、19 世紀末期に英国で興った美術工芸運動であるアーツ・アンド・クラフツ運動において、ウィリアム・モリスとともに中心的な役割を果たしたデザイナーであり、挿絵を始め、染色から陶芸まであらゆる分野を手がけた芸術家で、子供向けの絵本のイラストレーションにより、現代の絵本の基礎を築いた重要な画家として知られています。

同展はクレインの芸術を本格的に紹介する日本で初めての展覧会で、クレインのほぼすべての絵本と主要な挿絵本約 140 点を網羅的に鑑賞できます。ぜひご覧ください。



展示作品 『幼子のオペラ』1877 年

会期 滋賀県立近代美術館：2017 年 2 月 4 日(土)～ 3 月 26 日(日)〔終了〕
千葉市美術館：2017 年 4 月 5 日(水)～ 5 月 28 日(日)

インターナショナル・ウィーク 第 8 回 「メキシコ関連図書・資料展示」を開催

本学恒例の「インターナショナル・ウィーク」の開催に伴い、中央図書館では南映子経済学部助教監修のもと、2016 年 11 月 21 日（月）から約 1 ヶ月にわたり、テーマ国メキシコに関連した図書・資料の展示を実施しました。

2 階展示コーナーでは、徳川家康の時代まで遡る日本とメキシコの交流史や、メキシコの歴史・文化・芸術・文学などに触れることのできる図書・美術書など、今回のイベントの運営にあたった先生方の推薦図書を交えた蔵書 106 冊と目賀田周一郎法学部教授・前在メキシコ日本大使所蔵の文化遺産、自然遺産などの写真集や図書 16 点を展示しました。また、11 月 28 日（月）に図書館プレゼンホールで「メキシコ先住民の過去と現在」の講演を行った丹波美佐子商学部兼任講師より、先住民の伝統的民族衣装や工芸品、1960 年代のメキシコの人物や風景を撮影した写真が提供され、来館者の目を引くとともに展示に彩を添えました。国連寄託図書館でもある国際機関資料室では「世界遺産の国メキシコ」をテーマに、世界遺産を管轄する国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の機関誌『Courier（クーリエ）』の記事を中心に資料を展示し、世界遺産登録数 34 と世界第 7 位を誇るメキシコの豊かな歴史や文化、自然を紹介しました。

2 つの展示はともに好評を博し、12 月 3 日（土）までの会期を、2 階展示コーナーは 13 日（火）まで、国際機関資料室は 21 日（水）まで延長しました。また、12 月 1 日（木）開催の「メキシコ大使講演会」の折には、カルロス・アルマーダ駐日メキシコ大使が両展示を見学されました。メキシコ在日大使館・政府観光局後援のもとに開催された第 8 回インターナショナル・ウィークの全記録は『中央評論』299 号（2017 年春号）に掲載の予定で、図書館資料展示については南先生が、講演会については丹波先生が執筆しています。



新収資料紹介

教職員著作目録 2016.4 - 2016.7 配架図書一覧 () は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配架場所	請求記号
阿部 正浩 (経)	編著 少子化は止められるか?: 政策課題と今後のあり方	有斐閣	2016.3	中央書庫/開架	334.31/A12
フリードマン、ローレンス・M 新井 誠 (法) 紺野 包子	監訳 信託と相続の社会史: 米國死手法の展開	日本評論社	2016.1	中央書庫/ 市ヶ谷法務	324.953/F47
関連科 飯塚 容 (文)	審訳 父を想う: ある中国作家の自省と回想	河出書房新社	2016.5	開架/中国言語	924/E56
石川 晃弘 (名)、佐々木 正道、リュボミール・ファルチャン	編著 グローバル化と地域社会の変容: スロヴァキア地方都市定点追跡調査II (中央大学社会科学研究所研究叢書 33)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	302.348/I76
ケネス・R・ファインバーグ 伊藤 壽英 (法務)	審訳 大惨事後の経済的困難と公正な補償: 請求適格者と補償金額の決定について (日本比較法研究所翻訳叢書 72)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	323.9953/F17
梅村 坦 (経)	編 中央ユーラシアへの現代的視座 (中央大学政策文化総合研究所研究叢書 21)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	302.1/C66
遠藤 雅裕 (法)	著 台湾海陸客家語彙集 (中央大学学術図書 89)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫	M828.5/E59
大貫 裕之 (法務)、土田 伸也 (法務)	著 行政法: 事案解析の作法 第2版	日本評論社	2016.4	中央書庫/開架	323.9/O68

著者名	書名	出版社	出版年月	配架場所	請求記号
片桐 正俊(経), 御船 洋(商), 横山 彰(総)	格差対応財政の新展開(中央大学経済研究所研究叢書 64)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	345.1/Ka81
金光 仁三部(名), 渡邊 浩司(経), 本田 貴久, 武田はるか, 林健太郎, 志々見剛	フランス民話集 5(中央大学人文科学研究所翻訳叢書 15)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	388.35/C66
浜村 彰, 唐津 博(法) ほか	ベーシック労働法 第6版補訂版	有斐閣	2016.3	中央書庫/開架	366.14/H24
川喜田 敦子(文), 西 秀実	歴史としてのレジリエンス: 戦争・独立・災害(災害対応の地域研究 4)	京都大学学術出版会	2016.3	開架/埋開	369.31/Sa17
小林 謙一(文)	縄文時代の食と住まい(ものが語る歴史 32)	同成社	2016.3	中央書庫/日本史	210.2/Ko12
小林 道正(名)	世の中の真実がわかる「確率」入門: 偶然を味方につける数学的思考力(ブルーバックス B-1967)	講談社	2016.4	開架/埋開	ブルーバックス/ B-1967
佐々木 信夫(経)	地方議員の逆襲(講談社現代新書 2361)	講談社	2016.3	中央書庫/開架	318.4/Sa75
椎橋 隆幸(法務)	裁判員裁判に関する日独比較法の検討: 日独法律家協会・日本比較法研究所シンポジウム記録集(日本比較法研究所研究叢書 108)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	327.67/Sh32
椎橋 隆幸(法務)	ブライマリー刑事訴訟法 第5版	不磨書房	2016.3	中央書庫/開架	327.6/Sh32
椎橋 隆幸(法務)	よくわかる刑事訴訟法 第2版(やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ)	ミネルヴァ書房	2016.4	中央書庫/開架	327.6/Sh32
塩見 英治(経), 小畑 仁	国際航空自由化の制度的展開	文眞堂	2016.5	中央書庫/開架	687.1/Sh74
大沢 秀介, 大林 啓吾, 柴田 憲司(法) ほか	判例アシスト憲法	成文堂	2016.3	開架/市ヶ谷法務	323.14/O74
柴田 英樹(経)	新西洋経済史講義: 史的唯物論入門	学文社	2016.3	中央書庫/開架	332.3/Sh18
関野 満夫(経)	財政学	税務経理協会	2016.3	中央書庫/開架	341/Se37
ダグラス・C.ノース 水野 孝之 ほか 藤澤 弘和(経)	ダグラス・ノース制度原論	東洋経済新報社	2016.3	中央書庫	331/N96
マーガレット・マクミラン 真壁 広道 滝田 賢治(法)	第一次世界大戦: 平和に終止符を打った戦争	えにし書房	2016.5	開架	209.71/Ma22
建部 正義(名), 高橋 豊治(商)	日中の金融制度・金融政策比較(中央大学企業研究所研究叢書 37)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	338.3/Ta94
シンポジウム研究叢書編集委員会	東京・多摩地域の総合的研究(中央大学学術シンポジウム研究叢書 10)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	302.136/C66
中央大学経済研究所	日本経済の再生と新たな国際関係: 中央大学経済研究所創立50周年記念(中央大学経済研究所研究叢書 63)	中央大学出版部	2016.2	中央書庫/開架	332.106/C66
中央大学経済研究所経済政策研究部会	経済成長と経済政策(中央大学経済研究所研究叢書 65)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	333/C66
中央大学人文科学研究所	アーサー王物語研究: 源流から現代まで(中央大学人文科学研究所研究叢書 62)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	930.2/C66
中央大学人文科学研究所	文法記述の諸相 2(中央大学人文科学研究所研究叢書 63)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	801.5/C66
エリック・J.サンドクイスト 中央大学人文科学研究所	死にたる民を呼び覚ませ: 人種とアメリカ文学の生成 下巻(中央大学人文科学研究所翻訳叢書 16)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	930.29/Su74
都筑 学(文)	大学1年生のための伝わるレポートの書き方	有斐閣	2016.4	中央書庫/開架	816.5/Ts99
土田 伸也(法務)	基礎演習行政法 第2版	日本評論社	2016.4	中央書庫/開架	323.9/Ts26
新原 道信(文)	うごきの場に居合わせる: 公営団地におけるリフレクシヴな調査研究(中央大学社会科学研究所研究叢書 31)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	361.48/N72
西海 真樹(法)	現代国際法論集: 開発・文化・人道(日本比較法研究所研究叢書 107)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	329/N86
西海 真樹(法), 都留 康子	変容する地球社会と平和への課題(中央大学社会科学研究所研究叢書 32)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	319/N86
本沢 巳代子, 新田 秀樹(法)	トピック社会保障法 第10版	不磨書房	2016.4	中央書庫/開架	364/Mo93
野宮 大志郎(文), 西城戸 誠	サミット・プロテスト: グローバリ化時代の社会運動	新泉社	2016.3	開架/社会学	309/N94
雨宮 眞也, 野村 修也(法務)	コンプライアンスのための金融取引ルールブック 第16版	銀行研修社	2016.2	開架	338.32/A44
古野 豊秋, 畑 剛(法)	新・スタンダード憲法 第4版補訂版	尚学社	2016.5	中央書庫/開架	323.14/F93
早田 幸政(理)	教育制度論: 教育行政・教育政策の動向をつかむ	ミネルヴァ書房	2016.4	開架/埋開	373.1/H49
福田 公正(商)	経営のための統計学入門	ミネルヴァ書房	2016.3	中央書庫/開架	336.1/F74
藤木 裕(商)	入門テキスト金融の基礎	東洋経済新報社	2016.4	中央書庫/開架	338/F59
藤本 哲也(名), 生島 浩, 辰野 文理	よくわかる更生保護(やわらかアカデミズム・「わかる」シリーズ)	ミネルヴァ書房	2016.2	開架/市ヶ谷法務	369.8/F62
星野 智(法)	現代政治学の世界	見洋書房	2016.4	中央書庫/開架	311/H92
細野 助博(総), 風見 正三, 保井 美樹	新コモンズ論: 幸せなコミュニティをつくる八つの実践	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	318.2/H95
松野 良一(総)	戦争の記憶をつなぐ: 十三の物語	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	210.75/Ma84
原田 保, 三浦 俊彦(商) ほか	小売サービス業のフォーマットデザイン	同文館出版	2016.4	中央書庫/開架	673.7/H32
宮野 勝(文)	有権者・選挙・政治の基礎的研究(中央大学社会科学研究所研究叢書 34)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	314.8/Mi79
杜崎 群傑(経)	中国共産党による「人民代表会議」制度の創成と政治過程: 権力と正統性をめぐって	御茶の水書房	2015.12	中央書庫/総合政策	312.22/Mo63
ウィリアム・モリス 森松 健介(名)	春から夏へ(地上の楽園)	音羽書房鶴見書店	2016.4	中央書庫/開架	931/Mo78
高原 正興, 矢島 正見(文)	関係性の社会病理	学文社	2016.3	開架/社会学	368/Ta32
安野 智子(文)	民意と社会(中央大学社会科学研究所研究叢書 30)	中央大学出版部	2016.3	中央書庫/開架	311.14/Y65
矢内 一好(商)	日本とアジア・大洋州・米州・旧連諸国との租税条約: コンパクト解説	財経詳報社	2016.3	中央書庫/開架	345.1/Y54
山内 惟介(法)	比較法と国際私法(日本比較法研究所研究叢書 105. 比較法研究 第2巻)	中央大学出版部	2016.2	中央書庫/開架	321.9/H57
山内 惟介(法)	国際私法の深化と発展(学術選書 124 国際私法)	信山社	2016.2	中央書庫/ 市ヶ谷法務	329.8/Y46
山口 真美(文)	発達障害の素顔: 脳の発達と視覚形成からのアプローチ(ブルーバックス B-1954)	講談社	2016.2	開架/埋開	ブルーバックス/ B-1954
山口 真美(文)	自分の顔が好きですか? 「顔」の心理学(若波ジュニア新書 831)	岩波書店	2016.5	開架	若波ジュニア新書/ 831
山崎 朗(経)	地域政策(ベーシック+)	中央経済社	2016.3	中央書庫/開架	601/Y43
吉野 朋美(文)	後鳥羽院とその時代	笠間書院	2015.12	中央書庫/国文	911.14/G72/ Y92

* (法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(理): 理工学部、(法務): 法務研究科、(会計): 国際会計研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(研): 研究開発機構教授、(名): 名誉教授
* 配架場所は2ヶ所までとした